

川崎幸病院の移転計画(その1)

海燕編集部

川崎幸病院の移転新築計画がいよいよ大詰めを迎えてきました。そこで、今回の号からシリーズで移転に至る経過、その理念、具体的計画について掲載していきたいと考えます。第1回目は移転に至る経過を法人の事業の沿革として述べてみたいと思います。

石心会の医療事業の沿革

医療法人財団石心会は、川崎幸病院を核とする川崎地区、狭山病院を核とする狭山・東京都西部地区の2箇所事業所群に分かれて展開しています。それぞれの事業所はそれを必要とする時代的背景の中でこの二病院から分離・派生し、発展してきたものです。

石心会は、はじめ(昭和48年6月)、川崎幸病院を64床で開設しました。当時、川崎幸病院が位置する川崎市幸区は10万人当たりの病院病床数が120床と極端に病院病床の過疎地域でした。(現在は川崎幸病院の病床分だけ増えた)

従って、「高度な医療を身近に」を合言葉に内科、外科、整形外科、産婦人科の基本4科を標榜し、特に夜間の急病や交通外傷に対処すべく救急告示医療機関となりました。その後、入院病床が不足してきたため、

昭和61年に川崎幸病院を増床しました。この増床は、医学の進歩と技術革新を背景にして本格的なICUを持つ近代的病院(203床)としてリニューアルするものでしたが、これでも依然として幸区は、異常に少ない病床数であることに変わりはありません。昭和62年に開設した狭山病院(288床)は同様のコンセプトの病院として開設したのですが、はじめから時代の先端に行く救急・急性期病院として建設



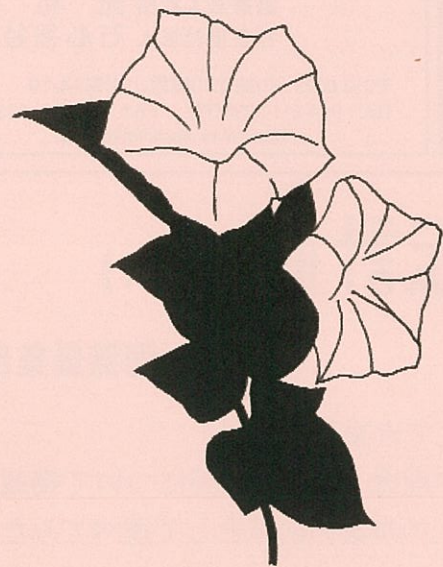
茶花

茗

本紙タイトル『海燕』は、M・ゴーリキーの散文詩《海燕の歌》(1901)に由来しています。その大意は以下のとおりであり、石心会のイノベーションマインドの象徴として採用しました。

……暗鬱な雲がたれこめ、雷鳴が轟く空と海。戸惑い騒ぐばかりの鳴らの群を尻目に、
海燕は激しく飛び交い、暗雲と雷鳴を切り裂いて一直線に飛翔する。

(編集部によるダイジェスト)



朝顔

されたため、開設後ほどなくして地域一
番病院となり、狭山市における地域中核病院
としての地位を築き今日に至っています
(現在349床)。

時代の変遷を経て、わが国は急速な人口
の高齢化が進み、人類史上前例のない
超高齢化社会を迎えようとしています。
他方で医学の進歩や新しい高度な技術も
又加速度的に普及し、かつては大学病院で
のみ行われてきたような重症高齢者の
治療が地域病院で行えるようになりました。
高齢化社会においては生活範囲の狭い
高齢者への治療が可能のように、高度医療
といえども、ますます地域性を帯びる
必要があります。その為地域の中核病院は
かつてとは比較にならないほど高度な
専門性を持つ人材と設備を必要とする
ようになりました。又、障害を持ったまま
生活の場に帰る高齢者に対する医療・
介護の連携も必要とされるようになって
来ました。このような時代背景の中で
当法人では、高齢化とともに増加する

循環器系の疾患、脳血管系の疾患への、
重症救急の治療体制を整備し、基準を
満たしたICUを、市内の大学病院に先んじて
設置し、これら疾患に対しては、市内で
一二を争う症例を扱うに至っています。
また平成5年以降、訪問看護ステーション
など在宅医療・介護のシステムを地域に
展開してきました。又、医療機関同士の
連携を深めるため平成7年には川崎幸病院、
平成8年には狭山病院が民間病院として
いち早く「開放型病院」となり、現在に
おいては狭山180、川崎幸150の診療所を
登録医として抱えて共に連携して地域医療
を展開しています。

さらに、平成10年には川崎幸病院が、
平成15年には狭山病院が一般外来を外に
出し(川崎幸クリニック、さやま総合クリニック)、
空いたスペースを重症・救急エリアの
充実にあて、より高度な救急・急性期の
医療を行えるようになりました。その結果
として平成13年には川崎幸病院が、本年
6月からは狭山病院が「急性期特定病院」の
指定を受けています。

このような中で医師の初期臨床研修の
事実上の義務化が制度化され、これに対応
するため狭山・川崎幸の両病院とも
「臨床研修指定病院」の指定を受けました。
今後石心会ならではの患者に対する
「温かい視線」を持った臨床医を育成する
事が我々の責務となります。

近年の石心会にとっての課題はあまりに
狭い病院の空間に上記のような沢山の
機能を詰め込んだため、ハードの更新
なくしてこれらの課題を発展させることが
不可能になっているところにあります。
とりわけ、川崎幸病院においては施設の
老朽化から、早急なりリニューアルが必要
となっています。

(次号に続く)

石心会川崎胃腸病院オープン

7月1日、石心会川崎胃腸病院がオープンしました。当面は外来診療のみ、時間外、
夜間救急および入院は川崎幸病院に依存する事になります。

なお、オープンと同時に電子カルテを導入。幸クリニック同様全科予約制になりました。
その為、診療券は川崎幸病院、川崎幸クリニック、鹿島田クリニック共通となりました。
また、川崎幸病院との間で相互に診療情報を閲覧する事ができます。

施設の概要

〒211-0021

神奈川県川崎市中原区木月住吉町1885番地

TEL : 044(433)4343

FAX : 044(433)2500

予約電話 044-433-4393

院長：松尾 成久

診療科目：胃腸科、外科、内科、循環器科、
呼吸器科、整形外科

設備：ヘリカルCT、内視鏡、X線透視装置、X線一般撮影、超音波検査装置(心臓、腹部)

許可病床数：62床



川崎幸病院手術室増設

川崎幸病院事務部長 小林 和彦

リニューアルされた手術室が5月13日に
稼動しましたので概要をお知らせします。

<改修目的>

旧来、手術室が狭く、緊急手術を常時受け
入れるには限界があり、その為人的努力、
運用で対応してきた面がありました。
このたびは、急性期特定病院として救急、
重篤な、複数の手術を何時でも同時平行
して行えるよう整備するのが目的でした。

また、昨年7月から大動脈瘤の手術が
多くなり人工心肺使用時に体温を下げるため、
免疫力の低下を招き、より感染対策の

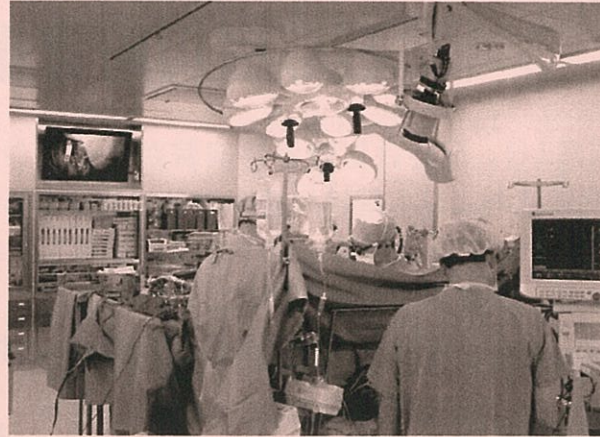
必要性が重要になってきました。

<改修内容>

- 1) 手術室 1
19.68㎡ → 52.25㎡ (2.65倍の面積)
- 2) 手術エリアへのアクセス
1箇所 → 2箇所
(清潔部分と不潔部分の分離)
- 3) 空調の改修
層流の改善とクリーン度クラス1000の実現
- 4) 手術室にモニターを設け記録室で
見られるようにした。

<結果>

大動脈外科・心臓外科専用の手術室が確保され予定手術、緊急手術とも対応が改善されました。更に人工心肺など器材が効率よく活用できるようになり、6月の1ヶ月間ですが心外、脳外さらに全体の手術件数が増加しました。感染対策の面では空調改修によりクリーン度が向上し、層流が改善されました。手術室への動線を変更した結果、清潔不潔の分離を進めることが出来ました。



★トピックス①

「ミュージア川崎」のホールスポンサーに

川崎駅の西口に音楽専用ホール「ミュージア川崎シンフォニーホール」がオープンしました。約2000席の大ホールにパイプオルガンを持つ本格的な音楽ホールです。<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/> 7月1日のこけら落としコンサートを皮切りに11月には実力世界一と言われるベルリンフィルハーモニーもやってきます。又、日本の伝統ある東京交響楽団がミュージア川崎とフランチャイズ契約を結び、

練習と年4回の定期演奏会を行う事が決まっています。石心会では、ホールからの要請で寄付を行いホールスポンサーになりました。その為、東京交響楽団の定期演奏会には、毎回4枚、年間16枚の無料チケットが送られてきます。公演日を確認の上、希望者は本部事務局総務課まで申し込んで下さい。希望者が多いときは抽選になりますのでご了解下さい。



【学問のすすめ】

第54回日本病院学会への参加について

上記学会が平成16年7月2日～3日、横浜にて開催され、当法人からは22名の職員がそれぞれの研究を発表し、シンポジストを小林事務部長、座長を石井理事長と辻田事務局長が務め、多数の職員が一般参加しました。大変多岐にわたる研究発表が活発に行われましたので全員の演題をお知らせします。

海燕編集部

参加者

川崎幸病院

山本 晋	大動脈センター長	大動脈疾患診療における大動脈センターの役割
縮 友和	CE科主任	急性期病院としての臨床工学技士の業務と課題
田内 直恵	栄養科	脳血管疾患における経腸栄養プロトコルの有用性の検討
渡部 博一	放射線科主任	チーム医療における消化器内視鏡技師の役割
柚木園 隆	放射線科科長	糖尿病性腎症の増加を抑制するための質的研究
長田 正章	コメディカル次長	コメディカル部門の組織化と病院作り
織茂 和洋	総務課係長	救急隊勉強会により構築された相互理解と信頼
佐藤 章	医務課課長	保険診療審査減点に対するの再審査請求の有効性について

狭山病院

高田 賀将	診療録管理室	原価計算的要素を加味したDPC対策
篠崎 典子	薬剤室	外来化学療法に関わる抗癌剤無菌調剤の実際
大川 清	栄養室室長	直営施設における院外調理システム構築の一例
矢部 恭代	検査室係長	病院検査室の運用・生化学測定器の機種変更について
西尾 康孝	放射線室	CT検査における造影剤副作用報告書の分析
相良 貴義	リハビリ室	軽症脳卒中患者に対する「再発予防教育」の可能性
守田 孝志	CE室室長	血栓吸引カテーテル導入による急性心筋梗塞治療の治療戦略及資材費用に与えた影響
平山 智子	CE室	当院における井水の使用経験についてーライフラインの確保とコスト削減を目的としてー

さやま総合クリニック

林 恵子	MSW	クリニックにおけるソーシャルワーカーの役割と課題
佐々木祐美	看護部	診察介助におけるヒヤリ・ハットの認識向上への取り組み
植木 淳子	放射線室係長	当院における画像観察用システムの性能評価
秋山 好美	栄養室係長	腹膜透析導入期栄養指導について
岡本 正太	患者サービス課課長	外来分離とその効果ーサテライトの取り組みー

アルファメディック・クリニック

松浦 孝俊	放射線科主任	ME Lightを用いた機器管理について
-------	--------	----------------------

シンポジスト

小林 和彦	事務部長	病院マネジメントー事務管理者からの提言ー
-------	------	----------------------

座長

石井暎禧	理事長	保健・予防活動
辻田征男	事務局長	事務管理

《趣味探訪》

スポーツに興じる人の笑顔が好き

川崎幸病院 施設課長 斎藤 洋美

聖地アテネで今夏2回目の開催を迎えるオリンピック。いつかは！と額に大粒の汗を流し、かつてテニスで白球を追いかけていた私は、当初の志こそやや後退したものの今や職場の仲間と、マルチスポーツに興じる今日この頃です。発端は、勤務を終え、差入れされた枝豆を食べながらノミニケーションを計っていた時のことです。座はスキーの話題で



盛り上がり、アルコールの勢いもあって「そうだ、同じ滑るなら最良の雪質とスケールの大きい北海道へ行こう！」となったのでした。半年かけてコツコツと計画(貯金?)した甲斐あって、こだわりどおり「雪質に恵まれた」3カ所のスキー場を日替わりでハシゴ。アフタースキーは、大通公園のイルミネーションを眺め、北の幸を食すという北海道らしさを満喫したおかげで、最高のものになりました。みんな意気揚々として帰路に着くはずだったのですが、ああ、飛行機が大雪による欠航です。電車も運休止空港は孤立し缶詰状態になりました。大なる自然力への無力さを思い知らされながらも、皆で力を合わせ川崎に帰りついたのでした。その後、病院ではスキーの楽しさよりも足止めの話題が一挙に広まったのですが、これを契機にスキーサークルを作ろうと言う機運が一気に盛り上がり、平成7年1月4日に病院公認のスキーサークルを結成しました。内容は「スキーにこだわらず、だれもが参加できるよう、幅広いスポーツサークルにしようと言う物でした。今にして考えるとこれがその後のサークルの発展を条件付けたのかもしれない。同じ年、テニス好きの仲間から、「白馬の森テニス&温泉」

計画の相談がありました。検査科佐藤科長夫妻を中心にスキーサークルの秋のイベントとして発案企画したのがテニス旅行の始まりです。その翌年には、正式テニスサークルとして草津や伊豆へと活動計画に広がりを見せました。年に4回、恒例としたテニスは“白子宿”のホームページに参加時の画像が載っています。(参照 <http://the-home.com/fami-kataoka/>)



卓球部、サッカー部、野球部の活躍

そんな流れの中で、卓球部が誕生し、翌平成10年8月に「第38回県病院協会主催卓球大会」(13チーム72名参加)に参加し、この試合は聖マリアンナ医大との決勝戦は惜しくも破れましたが「団体戦準優勝」、「女子個人戦4位入賞」の成果となりました。その後心外渡辺医師率いるサッカー部も誕生し、海燕に紹介されたのも記憶に新しいところです。

野球部のチーム名は「White Angels!」です。どこか弱そうですが、頭文字のWA=和=輪を広げて行くという意味で、メンバーはアツという間に30名を越し、背番号決めは大いに賑わいました。

増えるサークル同士の交流を深める目的で、合同新年会のほかに「合同合宿計画」を企画、こちらも大いに盛り上がりを見せていますが、スポーツの方の一番の成果としては「第25回川崎市病院協会野球大会」で参加16病院中「3位入賞」を果たした事でしょう。

スポーツでの笑顔はとくにすばらしいものです。

幼い頃、オリンピックへと夢の翼を広げた私は、好きなスポーツを介して、人とのネットワークの輪を広げる為にこれからも日々奔走します。 おわり。

「追記 紙面の都合で全てを紹介することはできませんが、私達の活動に興味を持たれた方はぜひ、私までご連絡下さい。紙面に載せるのははばかれるような「とっておきのイイハナシ」を用意してあなたをお待ちします。





さやま総合クリニック

ヘルシーコンサート

■各回とも満員、大好評でした。

- 4/10 『憂愁のヴィオラ』 ヴィオラ：岩間俊也 ピアノ：近藤昇 シンセ：鈴木弘美
太陽がいっぱい、エデンの東、リベルタンゴ、ヘンデルコンチェルト 他
- 4/17 『今日は皆様が演奏家』～体験！スタインウェイピアノ～ 指導：鈴木まりえ
- 4/24 『音楽の宝宝箱1』 ピアノ：片桐みどり
グリーク叙情小曲集、シベリウス名曲集 他
- 5/8 『世界名曲の旅』 ヴィオラ：岩間俊也 ピアノ&シンセ：近藤昇
荒城の月、冬のソナタ、ウィンターゲーム、ユモレスク 他
- 5/15 『悶絶コントラバス』 コントラバス：男子6楽房(駒井朗、高橋直人、久恒直己、住田悠太、野田浩次、薬科基輝)
スタジオジブリメドレー、いい日旅立ち、タンゴ3兄弟 他
- 5/22 スタインウェイナイト『紫陽花』 演奏：トニーズ・ストリングス
(鎌田浩史、村井薫、岩間俊也、清野佳子、近藤昇・高橋直人、鈴木まりえ、鈴木弘美)
スマイル、追憶、ユモレスク、アメリカ、紫陽花 他
- 6/12 『二つの個性』 ピアノ：鈴木まりえ
ベートーヴェンテンペスト・シューベルトソナタ 他
- 6/19 『スタッフコンサート』
 - 山南文香(狭山病院研修医) 愛の夢、華麗なる大円舞曲 他
 - 東野高等学校合唱同好会(杉野優、保谷善美、阿部菜美子、中川百合花、森田由衣) みあげてごらん夜の星を、サライ 他
 - 北田博大(狭山病院婦人科医師) グリーク「叙情小曲集」より
 - 山西晶子(狭山病院薬剤師) ベートーヴェンテンペスト・シューベルトソナタ 他
- 6/26 『爽快-ヴァイオリン』 ヴァイオリン：村井薫 ピアノ：片桐みどり
ラ・カンパネラ、マドリガル 他

★トピックス②

【川崎幸病院】

- 4月23日 オペ室改装工事着工。約2週間かけオペ室及び周辺を拡大。
- 5月8日 各科平成15年度実績報告及び平成16年度目標発表会を開催。
- 5月18日 新病院プロジェクト会議発足
- 6月2日 平成16年度資格取得者お祝い会(看護師10,呼吸療法認定士3,診療放射線技師2,言語聴覚士1,精神保健福祉士1)
- 6月11日 第26回院内研修会が「院内感染とその対策～細菌学のいろはとMRSA感染対策」(講師 ファイザー製薬株式会社/嘉津山哲司氏)をテーマに開催された。
- 6月26日 第10回「うるおいコンサート」(山崎和夫氏、坂本竜太氏によるギター演奏)
- 定例救急隊勉強会開催(市内、鶴見の救急隊員が参加されました)
 - 4月8日 『頭部外傷と外傷性頸部症候群』(脳外科：神林医師)
 - 5月20日及び6月10日 『肺塞栓血栓症』(外科：北村医師)

【狭山病院】

- 4月22日 西棟使用許可(62床)
- 5月17日 西病棟2階運用開始
西棟リハビリテーション室運用開始(総合リハビリテーションB施設)
- 6月1日 勉強会「感染の基礎」 参加人数94名
- 6月7日 地域医療支援病院申請書提出(6月18日立ち入り検査)
- 6月8日 勉強会「MRSAについて」講師：豊永小児科部長 参加116名
- 6月21日,22日 勉強会「保険診療①保険診療における審査の問題点他」 参加合計218名
- 6月25日 勉強会「医療事故の現状と対策」講師：南出行生弁護士 参加91名
- 6月28日 病院機能評価書面審査調査票提出

【さやま総合クリニック】

- 見学に来られた方々 ・5/12 川崎クリニック ・6/23 熊谷外科病院
- 外来糖尿病教室
 - 第1回「糖尿病とは」4/8 5/6 5/13 6/8
 - 第2回「合併症と日常の注意点」「足の手入れについて」「検査について」4/14 5/12 6/16
 - 第3回「薬物療法」「運動療法」4/21 5/19 6/23
 - 第4回「食事療法」4/28 5/26 6/30 ※各回4日で1講座です。
- 外来栄養教室
 - 4/22 「胃腸手術後の食事」
 - 5/27 「尿酸値を下げるお食事」
 - 6/24 「インシュリン抵抗性を改善しよう」

【川崎幸クリニック】

- 公開講座
 - 4/30 第63回「ひざの痛みに対する運動療法」講師：小野隆リハビリテーション室長 参加45名
 - 6/18 第64回「子供の夏に流行る病気と手当て」講師：小児科/武田医師 参加5名
- 気功教室 講師：臨床心理士 稲富正治
 - 4/15 (10名) ・4/16 (8名) ・5/20 (12名) ・5/28 (11名)
 - 6/16 (13名) ・6/17 (8名)
- 食事の教室 管理栄養士 清水里子
 - 4/15 「高血圧予防のために調味料を上手に使おう」参加12名、
 - 5/19 「糖尿病予防のために」参加14名
 - 6/10 「ダイエットに兆戦①」参加15名
- 消防訓練 4/16 参加20名

【アルファメディック】

- 5月14日 PET勉強会 参加10名

【オリーブ】

- 4月13日 ワンダフルマジック公演
- 6月10日,24日 堀兼中学校生徒との交流
- 6月12日,19日,26日 ボランティア養成講座開催